

# 利 用 報 告 書

課 題 名	企業行動の国際比較分析
(英 文 名)	International Comparative Analysis on the Behavior of Corporations -An Empirical Study-
利用 者 名	道明 義弘 (社会学部 教授)
<p><b>1. 研究目的・内容</b> 日本および米国、カナダ、世界各国の企業についての財務データベースを利用し、企業行動を分析し、行動比較を試みる。</p> <p><b>2. 研究方法・計算方法</b> 日本政策投資銀行「企業財務データバンク」、S&amp;P's COMPUSTAT、S&amp;P's GLOBAL Vantageのデータをパソコンを用いて処理し、SPSS、TSP等の統計処理ソフトを用いて計算処理を行うことにより、企業行動の解明を試みる。</p> <p><b>3. 研究成果</b> 本年度は日本企業について、その行動を解明する手がかりとなる下記のような成果を得た。</p> <p><b>4. 発表・出版実績または予定</b> 「一般機械産業企業における設備廃棄をめぐる経営行動： 経営行動の多変量VARモデルによるパネルデータ分析」 道明義弘・伊藤研一・井澤裕司 奈良大学紀要、第35号、2007年3月 pp.155-176</p> <p>「わが国企業の行動は、いつ、どのように、変わったか?」 道明義弘・伊藤研一・井澤裕司 奈良大学情報処理センター年報 第17号 2007年3月 pp.19-36</p> <p>【パネルデータの構成と動的パネル分析 (GMM推定による多変量VARモデル)】 道明義弘・伊藤研一・井澤裕司 立命館大学 ファイナンス研究センター Research Paper Series No.06-004 2007年3月</p>	